

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2	学年	1	科	機械科
----	----	----	-------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

言葉による見方、考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。【知識・技能】
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思考力・判断力・表現力】
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【学びに向かう態度】

2、使用教科書・副教材

新編 現代の国語 (第一学習社)

3、学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	実社会での課題設定及び課題解決につながる国語の知識や技能を身に付けて適切に使っている。	多様な他者と共に高め合い、認め合いながら伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりしている。	言葉の価値への認識を深めるとともに、自分の考えを相手にわかりやすく、筋道を立てて伝え、言葉を通して積極的に他者や社会と関わろうとしている。
評価方法	・定期考査	・定期考査及びレポート ・グループでの話し合いや発表などの場面での観察	・授業中の発言内容や行動観察 ・生徒による自己評価や相互評価の様子及び記述内容

4、学習および評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

		学習の内容	時数	評価規準
一学期	4月	「こそそめスープ」 筆者の考え方を読み取り各自が持つ意識の世界に思いをはせる。	5	(a)、(b)
	5月	「ルリボシカミキリの青」 筆者の少年時代の体験文を読み、自分に当てはめて考える。	8	(a)、(b)
	6月	「気になるニュースについて話そう」 情報を整理し、内容や構成に注意して話す。	6	(b)、(c)
	7月	「水の東西」 日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の理解を深める。	9	(a)、(b)、(c)
二学期	8月	生活体験文 作文作成・発表	7	(b)、(c)
	9月	「無彩の色」 具体例の役割を押さえながら読み筆者の価値観と主張をつかむ。	7	(a)、(b)
	10月	「鍋洗いの日々」 筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。	9	(a)、(b)、(c)
	11月	「りんごのほっぺ」 戦時下の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。	7	(a)、(b)、(c)
三学期	12月	「りんごのほっぺ」	7	(a)、(b)、(c)
	1月	生徒会誌「雑草」作文作成	7	(b)、(c)
	2月	「真の自立とは」	4	(a)、(b)、(c)
	3月	「自立」について自分の考えを持ち、視野を広げる。	2	

5、学習にあたって(アドバイスなど)

- ・毎時間の授業を大切にし、積極的に取り組んでほしい。
- ・授業ノートや長期休業の課題などをきちんとやり、期限までに提出すること。
- ・復習などをしっかりやり、テストで点数が取れるように努力すること。

教科	国語	科目	現代文A	単位数	2	学年	3	科	機械科
----	----	----	------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

近代以降の様々な文章を読んで、ものの見方を広げ、深める。生活体験発表や年度末の文集作成を通して話すこと・聞くこと、書くことの力を高める。

2、使用教科書・副教材

高等学校 改訂版新編現代文A(第一学習社)

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	4月	随想「新しい地球観」	定期考查までに学んだ内容	6
	5月	小説「調律師のるみ子さん」		7
	6月	評論「数え方で磨く日本語」		7
	7月	詩「汚れつちまつた悲しみに・・・」ほか		8
二学期	8月	生活体験 作文作成・発表	定期考查までに学んだ内容	6
	9月	小説「ナイン」		8
	10月	評論「犬も歩けば棒に当たる」		7
	11月	小説「鼻」		9
三学期	12月	小説「ひよこの眼」	定期考查までに学んだ内容	6
	1月	生徒会誌「雑草」作文作成		6
	2月	評論「経験の教えについて」		6
	3月	一年間のまとめ		2

計78

4、評価の方法

主体的な言語活動	生徒への発問、それに対する解答など対話形式を大切にする。
関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応など様々な観点から積極性を観る。
話す・聞く能力	発問に対する解答や、そこに至までの過程や反応を観察する。
書く能力	ノートや、課題等を観察する。
読む能力	音読を通じて観察する。
知識・理解	履修した事柄の積み重ねがされているか確認をする。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- ・毎時間の授業を大切に、積極的に取り組んでほしい。
- ・授業ノートや長期休業の課題などをきちんとやり、期限までに提出すること。
- ・復習などをしっかりやり、テストで点数が取れるように努力すること。

教科	国語	科目	国語総合	単位数	2	学年	2	科	機械科
----	----	----	------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

様々な文章を読んで、ものの見方を広げ、深める。生活体験発表や年度末の文集作成を通して話すこと・聞くこと、書くことの力を高める。

2、使用教科書・副教材

高等学校 改訂版 新編国語総合(第一学習社)

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	4月	随想「身近な動植物の名を覚えよう」	定期考查までに学んだ内容	5
	5月	小説「よだかの星」		8
	6月	古文「竹取物語」		6
	7月	小説「羅生門」		9
二学期	8月	生活体験 作文作成・発表	定期考查までに学んだ内容	7
	9月	評論「イースター島にはなぜ森がないのか」		7
	10月	漢文「五十歩百歩」「矛盾」		9
	11月	古文「仁和寺にある法師」		7
三学期	12月	小説「鉄道員」	定期考查までに学んだ内容	7
	1月	生徒会誌「雑草」作文作成		7
	2月	唐詩「春望」「送元二使安西」		4
	3月	一年間のまとめ		2

計78

4、評価の方法

主体的な言語活動	生徒への発問、それに対する解答など対話形式を大切にする。
関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応など様々な観点から積極性を観る。
話す・聞く能力	発問に対する解答や、そこに至までの過程や反応を観察する。
書く能力	ノートや、課題等を観察する。
読む能力	音読を通じて観察する。
知識・理解	履修した事柄の積み重ねがされているか確認をする。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- ・毎時間の授業を大切に、積極的に取り組んでほしい。
- ・授業ノートや長期休業の課題などをきちんとやり、期限までに提出すること。
- ・復習などをしっかりやり、テストで点数が取れるように努力すること。

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2	学年	4	科	機械科
----	----	----	------	-----	---	----	---	---	-----

1、科目の目標

- 1 言語能力の基礎を育成する。
- 2 表現能力を高めるための基本の力(認識力・思考力・感受性)を伸ばす。
- 3 現代人として生きるための言語感覚を磨く。

2、使用教科書・副教材

国語表現 改訂版(大修館書店)

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	4月	書いて伝える ・整った文を書く	定期考查までに学んだ内容	7
	5月	・わかりやすい文を書く		7
	6月	・文のつながり方		7
	7月	・絵や写真を見て書く		7
二学期	8月	小論文・レポート入門 ・小論文とは何か	定期考查までに学んだ内容	6
	9月	・反論を想定して書く		8
	10月	・資料を読み取って書く		8
	11月	・発想を広げて書く ・レポートを書く ・論文を書くために		8
三学期	12月	自己PRと面接 ・自己を見つめて	定期考查までに学んだ内容	7
	1月	・効果的な自己PR		6
	2月	・将来の自分を考えよう		5
	3月	・志望動機をまとめよう ・面接にチャレンジ 一年間のまとめ		2

計78

4、評価の方法

主体的な言語活動	生徒への発問、それに対する解答など対話形式を大切にする。
関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応など様々な観点から積極性を観る。
話す・聞く能力	発問に対する解答や、そこに至までの過程や反応を観察する。
書く能力	ノートや、課題等を観察する。
読む能力	音読を通じて観察する。
知識・理解	履修した事柄の積み重ねがされているか確認をする。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- ・毎時間の授業を大切に、積極的に取り組んでほしい。
- ・授業ノートや長期休業の課題などをきちんとやり、期限までに提出すること。
- ・復習などをしっかりやり、テストで点数が取れるように努力すること。